

# CD-HF1

本製品はEIAJコードカラーに対応しています。

## carrozzeria

Pioneer

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

### 販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

## 取扱説明書

## パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2000

< 00C00F0R01 > < CRA3010-A >

はじめに  
1

## おもな仕様

### 本体

使用電源	DC 14.4 V
アース方式	マイナスアース方式
最大消費電流	15 mA
検出信号	800 MHz ~ 1.5 GHz
外形寸法	45 (W) x 21 (H) x 100 (D) mm
質量	90 g

### 付属品

マイク類	1式
コード類	1式
取付キット	1式
取扱説明書	1

### メモ

本機の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

## 安全のために必ずお守りください

### 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



## 注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

## 安全上のご注意



## 警告

### [使用方法]

運転中に携帯電話の操作をしない



禁止

自動車の運転中に携帯電話の操作をしないでください。交通事故の原因となります。

分解や改造はしない



分解禁止

本機を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

### [異常時の処置]

故障のまま使用しない



禁止

正常に動作しないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



## 注意

### [使用方法]

本機に時計や磁気カードを近づけない



禁止

本機は、携帯電話の取り付けに磁石を使用しています。時計や磁気カードを近づけると、時計や磁気カードが故障したり、使用できなくなる恐れがあります。

## この製品について

本機をハンズフリーキット対応のバイオニア製メインユニットと組み合わせると、携帯電話の通話がハンズフリーでできるようになります。

携帯電話の発着信に合わせて、メインユニットが電話モードに自動的に切り換わります。携帯電話の通話ボタンを押して電話に出ると、付属のマイクとカーステレオのスピーカーを使って、会話をすることができます。

通話が終わると、メインユニットは元の状態に戻ります。

本機を使用する前に、組み合わせたメインユニットのハンズフリー設定を必ずONにしてください。ONにしないと、ハンズフリーでの通話ができません。

本機は、800MHz～1.5GHzまでの、アナログおよびデジタル携帯電話に対応しています。

CDMA方式の携帯電話は、本機では使用できません。

車内で他に通話中の携帯電話がある場合、メインユニットが電話モードに切り換わってしまったり、本機に接続した携帯電話の通話を終了しても、電話モードのままになることがあります。この場合、本機に接続していない携帯電話の使用を中止してください。

携帯電話の受信状態が良くない場所では、メインユニットが電話モードに切り換わらなかったり、通話中に電話モードから元の状態に戻ってしまうことがあります。

メインユニットは、電話モードになると、音量と音量バランスしか操作できなくなります。調節した音量および音量バランスの内容は、電話モード用の設定として記憶されます。(☞メインユニットの取扱説明書)

通話中のハウリング(共鳴)などを低減するために、通話相手が話している間はマイクからの音声は通話相手に届かないようになっています(通話相手優先方式)。相手の話が終わったところで話し始めると、スムーズな会話ができます。

ハウリング(共鳴)が起きたときは、メインユニットの音量および音量バランスを調節してください。(☞メインユニットの取扱説明書)

通話中、通話相手に届く音声にエコーがかかってしまうことがあります。この場合は、携帯電話の受信音量を調節すると良くなる場合があります。

ロードノイズ、風切り音、エアコンの送風音などにより、通話相手に届く音声および通話相手の音声にノイズがのることがあります。この場合は、次のことを行うなどして車内の騒音を減らしてください。

\*車を安全な場所に止める \*マイクの向きを調節する \*窓を閉める \*エアコンの送風を弱める

本機の取り付け位置によっては、メインユニットや通話相手に届く音声にノイズがのることがあります。この場合、メインユニットから離して本機を取り付けてください。

ハンズフリーシステムどうしでの通話、相手の電話の種類、電話回線などの組み合わせにより、不自然な音になる場合があります。

本機は携帯電話の出す電波を検出して動作しています。本機から携帯電話を離している場合、正しく動作しません。必ず本機に携帯電話を置いて使用してください。(☞取付☉)

車から電源を取って使用する携帯電話用充電器などをつないだまま、本機を使用しないでください。

携帯電話のバッテリーセーブ機能やノイズキャンセル機能はOFFにして使用してください。

携帯電話に自動着信機能がある場合は、その機能をONにしてください。

発着信等の携帯電話のコントロールは、本機からはできません。

## 安全上のご注意



## 警告

## [接続・取り付け]

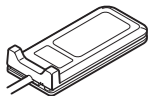
<p>前方の視界や安全装置、運転の妨げになる場所へは取り付けない</p> <p> 禁止</p> <p>前方の視界を妨げる場所やエアバックなど安全装置の妨げになる場所、ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどの運転操作に支障をきたす場所、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。</p>	<p>車体に穴を開けるときの注意</p> <p> 注意</p> <p>車体に穴を開けて取り付ける場合は、必ずパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。事故や火災の原因となります。</p>
<p>取り付けには保安部品のボルトやナットは、絶対に使用しない。</p> <p> 禁止</p> <p>車体のボルトやナットを使用する場合は、ステアリング・ブレーキ系統やタンクなどの保安部品は絶対に使用しないでください。これらを使用しますと制御不能や火災の原因となります。</p>	<p>作業中はバッテリーの⊖端子を外す</p> <p> 注意</p> <p>接続・取り付けの作業中は、バッテリーの⊖端子を外してください。ショート事故による感電やケガの原因となります。</p>
<p>アースをとるときは保安部品のボルトやネジは、絶対に使用しない</p> <p> 禁止</p> <p>車体のボルトやネジを使用してアースをとるときは、ステアリングやブレーキ系統などの保安部品のボルトやネジは絶対に使用しないでください。事故などの原因となります。</p>	<p>コード類は、運転操作の妨げとならないように配置する</p> <p> 注意</p> <p>コード類は、運転操作の妨げとならないよう配置し、粘着テープなどで固定してください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。</p>
<p>コード類は、決して途中で切断しない</p> <p> 禁止</p> <p>コード類は、決して途中で切断し短くして使わないでください。もしものときに保護回路が働かなくなり火災の原因となります。</p>	<p>コード類の配線時に金属部と接触する所は、粘着テープを巻く</p> <p> 注意</p> <p>コード類の配線時に金属部と接触する所は、必ず粘着テープを巻き被覆を保護してください。火災・感電の原因となります。</p>

## [接続・取り付け]

<p>取り付け、配線は、販売店に依頼する</p> <p> 注意</p> <p>取り付け、配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。</p>	<p>必ず付属の部品を指定通りに使用する</p> <p> 必ず行う</p> <p>必ず付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。</p>
<p>水がかかる所やほこりの多い所に取り付けない</p> <p> 水ぬれ禁止</p> <p>ドア近くなど雨水がかかりやすい所やほこりの多い所への取り付けは、避けてください。水やほこりが混入しますと発煙や発火・感電の原因となることがあります。</p>	<p>振動の多い所や不安定な所に取り付けない</p> <p> 禁止</p> <p>振動の多い所や不安定な所への取り付けは、避けてください。外れて事故やケガの原因となることがあります。</p>
<p>天井など不安定な所に取り付けない</p> <p> 禁止</p> <p>天井など不安定な所に取り付けるなど、正しい設置を行わないと、落下などの原因となることがあります。</p>	<p>正しく接続する</p> <p> 必ず行う</p> <p>この取扱説明書で指定された通りに正しく接続を行わないと、火災や事故などの原因になることがあります。</p>
<p>コード類は、座席レールなどにかみ込まないように配置する</p> <p> 注意</p> <p>コード類は、座席レールなどの動く部分にかみ込まないように配置し、粘着テープなどで固定してください。ショート事故による火災・感電の原因となることがあります。</p>	<p>車載用以外は使用しない</p> <p> 禁止</p> <p>車載用として以外は、使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。</p>
<p>危険となる場所に取り付けけない</p> <p> 禁止</p> <p>車の急激な揺れや事故などの場合に、携帯電話が飛び出してケガの恐れがある場所には取り付けないでください。</p>	


はじめに **3** 接続・取り付け部品を確認する

**本体関係**




① 本体 × 1


**ブラケット関係**



② ブラケット × 1




③ 両面テープ × 1

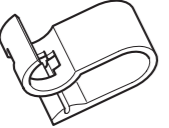


④ タッピングネジ (4 × 12 mm) × 2


**マイク関係**




⑤ マイク × 1



⑥ マイククリップ × 1

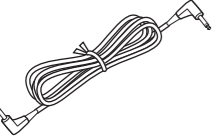


⑦ 両面テープ (20 × 16 mm) × 1




⑧ クランパー (白) × 5


**接続/取付関係**




⑨ コード × 1



⑩ クランパー (黒) × 6



⑪ 金属シート (大) (40 × 20 mm) × 1



⑫ 金属シート (小) (24 × 17 mm) × 1

取付 **1** 取り付けの前に知ってほしいこと

**取り付けのポイント**

取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

明瞭な通話音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。

**取り付け上のご注意**

本機の実取り付け位置によっては、メインユニットや通話相手に届く音声にノイズがのることがあります。この場合、メインユニットから離して本機を取り付けてください。

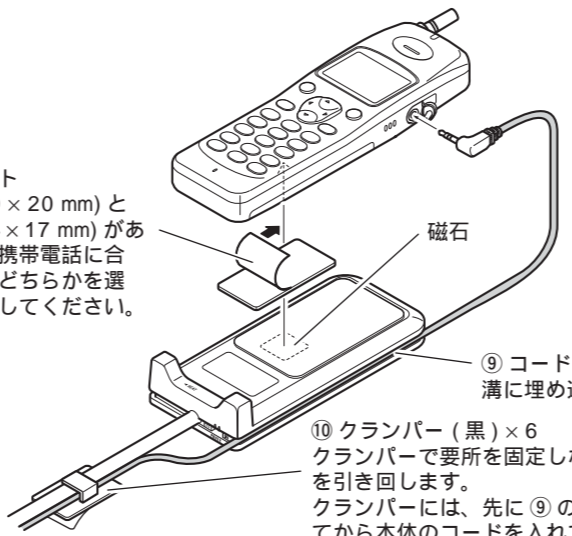
重さが100g以上の携帯電話を使用するときは、本機を水平な場所に取り付けてください。

直射日光が当たるところには、本機を取り付けしないでください。高温により保護回路が働き、動作が停止します。

振動などで、携帯電話がずれてしまったときは、置き直してください。そのままにしておくと、衝撃で落ちてしまうことがあります。

取付 **2** 携帯電話を取り付ける

携帯電話がしっかり固定されるように、本体の磁石の位置に合わせて、携帯電話の裏面に金属シートを貼ってください。金属シートは、なるべく大きい方 (40 × 20 mm) を使用してください。



金属シート

⑪ 大 (40 × 20 mm) と ⑫ 小 (24 × 17 mm) があります。携帯電話に合わせて、どちらかを選んで使用してください。

磁石

⑨ コード溝に埋め込みます。

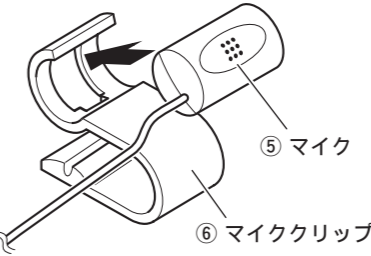
⑩ クランパー (黒) × 6 クランパーで要所を固定しながら、コードを引き回します。クランパーには、先に⑨のコードを入れてから本体のコードを入れてください。

取付 **4** マイクを取り付ける

マイクはドライバーの声をなるべく拾いやすい向きや、位置に取り付けてください。

**サンバイザーにはさんで取り付ける場合**

**1** マイククリップにマイクを取り付ける

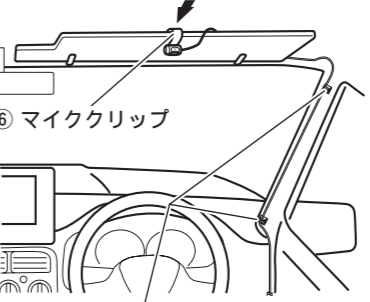


⑤ マイク

⑥ マイククリップ

**2** サンバイザーにマイククリップを取り付ける

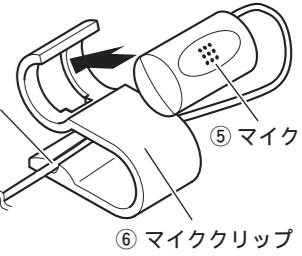
サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、ドライバーの音が拾えなくなります。



⑥ マイククリップ

**ステアリングポストに取り付ける場合**

**1** マイククリップにマイクを取り付ける




⑤ マイク

⑥ マイククリップ


溝にマイクコードを埋め込みます。

**2** ステアリングポストにマイククリップを取り付ける



⑦ 両面テープ (20 × 16 mm)

ステアリングポストのできるだけ手前に取り付けてください。



⑧ クランパー (白) × 5 クランパーで要所を固定しながら、運転操作に支障がないようにマイクコードを引き回します。

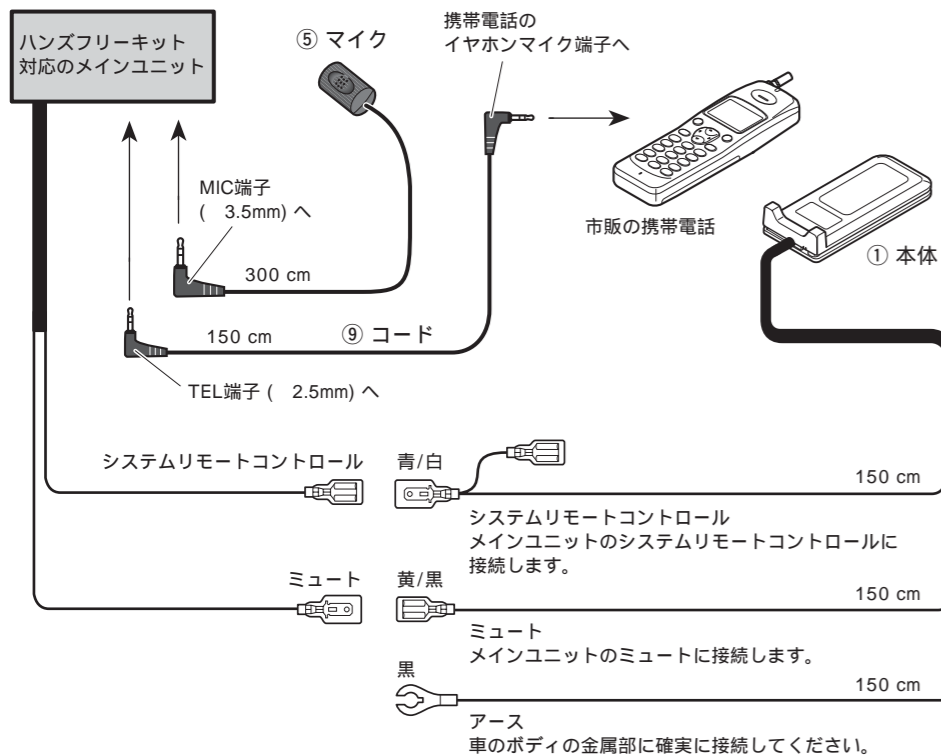
## 接続 1 接続の前に知ってほしいこと

### 接続上のご注意

本機と他の製品では同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ働きのコードどうしを接続してください。

## 接続 2 接続する

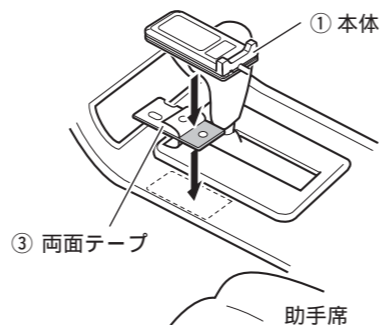
—— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください ——



## 取付 3 本体を取り付ける

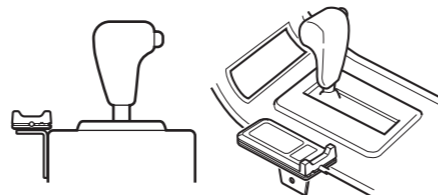
### 直接取り付ける場合

付属の両面テープを使用して、本体を取り付け場所に貼り付けます。



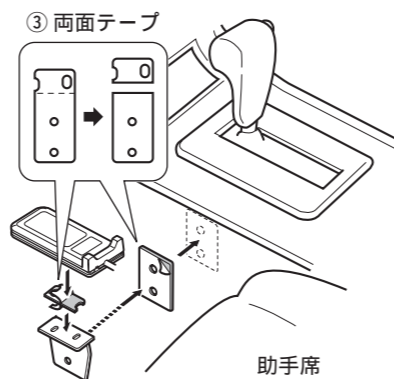
### ブラケットで取り付ける場合

センターコンソールの幅が狭く、センターコンソール上に取付スペースがない場合の取り付けかたです。

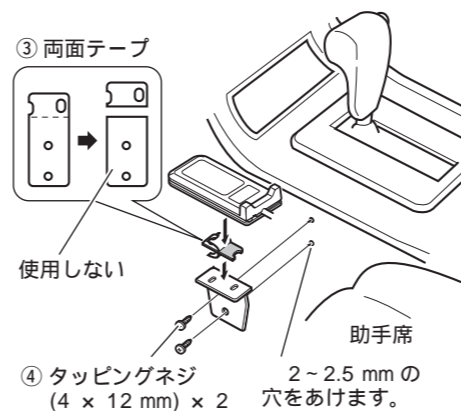


付属の両面テープまたはタッピングネジで取り付けます。

#### 両面テープで取り付ける場合



#### タッピングネジで取り付ける場合



## 操作 1 操作する

スイッチは、小さいドライバーなどで操作してください。

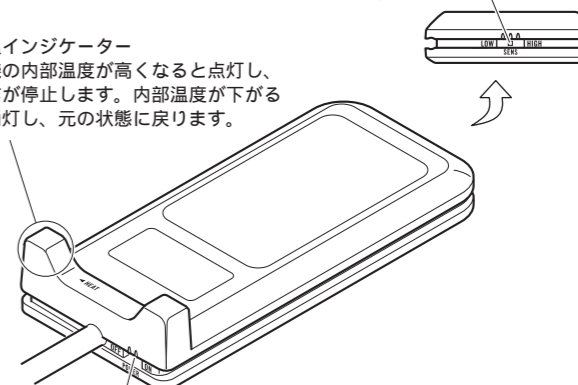
感度レベル切り換えスイッチ  
携帯電話の電波を拾う感度を切り換えることができます。

LOW (感度レベル弱) ←→ HIGH (感度レベル強)

感度は3段階に切り換えることができます。  
本機に接続した携帯電話以外の信号で、本機が働いてしまう場合は、LOW側に設定してください。また、本機に接続した携帯電話で発着信しても本機が働かない場合は、HIGH側に設定してください。

#### 高温インジケータ

本機の内部温度が高くなると点灯し、動作が停止します。内部温度が下がると消灯し、元の状態に戻ります。



#### 電源スイッチ

本機を使用するときは、ONにしてください。メインユニットの電源ON/OFFに連動して、自動的に本機の電源がON/OFFします。

### 操作上のご注意

スイッチは強く押ししたり引っかいたりすると壊れますので、注意して操作してください。